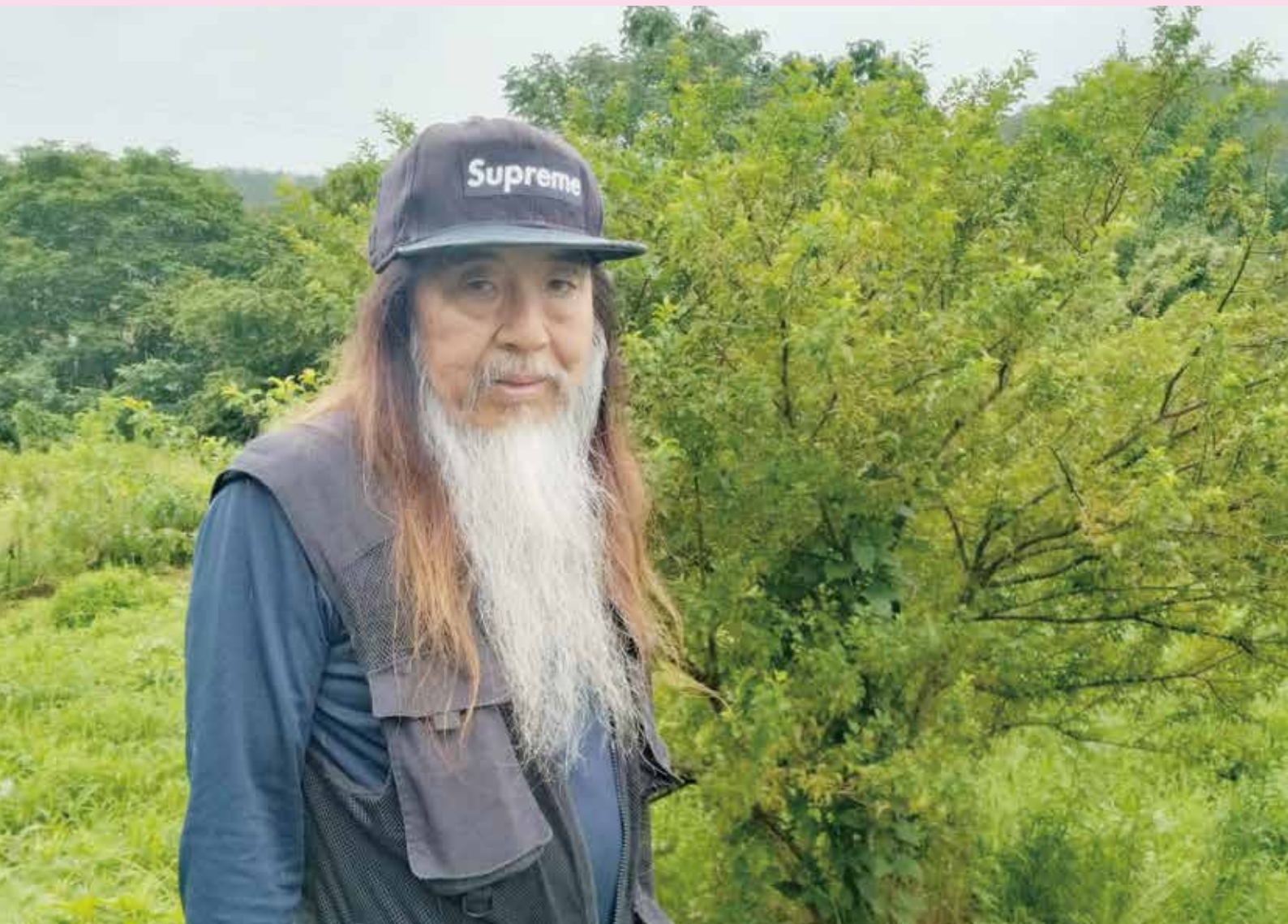


農の広場

登米市農業委員会だより

第49号
令和8年10月



アーモンドの花でいっぱい

仙台市にお住まいのお ば た ひ ろ お小畠宏夫さんは、東和町米川にある母親の実家を相続しました。数十年ぶりに訪れた時、荒れ果てた田畑とたくさんの太陽光パネルで、とてもがっかりしたそうです。

「ここには太陽光パネルより、花の咲くアーモンドの木の方が良いと思って、6年前から自分で少しずつ植え始めて、今では800本程になりました。これからも植えて、ここをアーモンドの花でいっぱいになりたい」「アーモンドの実が収穫できるようになったら、ここの特産品にして地域農業に貢献できれば最高だと思っています」と、笑顔で話してくれました。

担当：鈴木 泰子 委員

タブレット研修会・新任委員研修会



タブレット研修会

7月31日中田庁舎旧議場において農地利用最適化推進委員を対象としたタブレット研修会が開催されました。

タブレット研修では、農地業務のデジタル化に向けた取り組みについて学習。参加者は、業務効率化や現場でのリアルタイムなデータ活用・情報共有の重要性を学び、実際の端末を手にしながら操作手順や活用方法を熱心に確認していました。

農地利用の最適化と円滑な現場運用に向け、委員一人ひとりの真剣な取り組みと意欲が感じられる充実した研修となりました。今後もデジタル技術を活用し、地域の農業振興に努めてまいります。

タブレット研修会終了後には、新任の農業委員と農地利用最適化推進委員を対象とした研修会が開催されました。農地法をはじめとする関係法令の概要や、担い手への農地の集積と集約の推進、現地確認の進め方など、農業委員会の仕組みと役割について基礎知識を深めました。

担当：石堂 貴博 委員

市町村農業委員・農地利用最適化推進委員新任者研修会

8月6日仙台市のJAビル宮城において、市町村農業委員・農地利用最適化推進委員新任者研修会（宮城県農業会議主催）が開催され、16名の新任委員が参加しました。研修では、農業委員会組織の概要をはじめ、農地法や農地関連法など関係法令に基づく業務について学びました。

農業委員会は、農地を守り、人と人をつなぐ地域農業を支える重要な役割を担っています。地域を歩き、地域の人たちと交流を深め、現場を知ることが大切です。新任委員は、これから農家との信頼関係を築き、地域農業を支える活動に取り組みます。

担当：及川 祐宏 委員

農地の転用や売買、貸借などの申請は、毎月10日が締切です。10日が土曜、日曜、祝日の場合は、翌開庁日が締切となります。



新任者研修会

農地利用状況調査を実施

8月7日中田農村環境改善センターにおいて「農地利用状況調査研修会」を開催し、総勢81名が参加しました。当日は農地利用状況調査員74名への委嘱状交付が行われたほか、遊休農地や違反転用の調査手順・注意点について講習を実施。あわせて調査員の安全確保に向け、災害補償保険の概要説明や、作業中のスズメバチ・クマ被害を防ぐための安全対策備品の説明を受けました。参加者は丁寧な調査と安全対策の徹底について理解を深めました。



委嘱状を交付



研修会の様子

農業委員会で農地利用状況調査を行う主な目的は、遊休農地の発生防止と解消、そして農地の集積・集約化による有効活用です。農地利用最適化推進委員が現地を確認して利用状況を正確に把握することで、所有者への利用再開の働きかけや、農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積をスムーズに進め、地域全体の農地を守ることを目的としています。

8月上旬から9月中旬にかけて、農地利用最適化推進委員、農業委員と農地利用状況調査員が農地に立ち入り、安全確保に十分配慮し、利用状況の確認や写真撮影を行いました。

調査の際、農地への立ち入りにあたり、地域の皆さまには、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。今回の調査結果をもとに、市内の遊休農地の解消や、さらなる農地利用促進を図ってまいります。

なお、調査結果に基づき該当する農地所有者の方には、今年12月上旬頃に「遊休農地の利用意向調査」の通知書を送付いたします。対象の方には、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

担当：石堂 貴博 委員



農地利用状況調査の様子

農業者年金に加入して安心で豊かな老後を！

～加入要件～

- ①年間60日以上農業に従事
- ②国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く）
- ③65歳未満（60歳以上は国年任意加入者）

宮城県農業会議
YouTubeチャンネル



農業者年金制度解説

農業者年金基金
ホームページ



年金額の試算など

新人農業委員の抱負

7月の改選に伴い、新たに農業委員に就任された4名の方々に、就任の抱負や農業に対する思いを伺いました。



鈴木 正吉 委員(南方町)

このたび、農業委員を務めることになりました。

地域の皆様とのつながりを大切にしながら農業や農

地を守るために精一杯取り組んで行きたいと思ひます。

皆様から学びながら、一つひとつ責任を持つて活動して行きたいと思ひます。

どうぞよろしくお願いいたします。



後藤 きみあき 委員(東和町)

日本の食料自給率が低い中、遊休農地がたくさんあり、「もったいないなあ〜」と感じていました。

輸入に頼らず国内で生産が増えれば、家庭に「安心、安全」な食べものを届ける事ができると思ひます。

微力ながら農地を守り、農業を発展させる事ができる、そして気軽に相談できる農業委員になりたいと思ひます。

どうぞ気軽にお声掛けいただけたらと思ひます。



渡邊 克昭 委員(南方町)

このたびの改選にあたり、前農業委員の柴崎さんから引き継がさせていただく形になりました。

私は、農業に携わり早37年になります。就農当時は、農業を営む家も多く水稻を基盤とした畜産、園芸、畑作と活気があり農地を有効活用して豊かであったように思ひます。近頃は、後継者がいなく離農、不在者農地、耕作放棄など耳にする事が多くなりました。そこで、この登米の恵まれた肥沃な大地を次世代へ繋ぐことが自分たちの役目だと思ひます。そして、農業委員の先輩方にご指導をいただき色々学びながら、登米農地を守り農業を益々発展させることができるように取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



伊藤 光生 委員(中田町)

このたび、農業委員を拝命しました伊藤光生と申します。微力ではございますが、就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本地域の農業は、先人のたゆまぬ努力と、日頃から農地を守り育ててこられた皆様のお力によって支えられてきました。私は、農地の適正な利用や担い手の確保に努めるとともに、農業者の皆様の声に耳を傾け、実情に即した活動を行ってまいりたいと存じます。

至らぬ点も多いかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任の挨拶といたします。



私たちが広報をお届けします！

編集委員

委員長 佐藤 久順
副委員長 鈴木 泰子
委員 佐藤 瑛彦
及川 祐宏
鈴木 正吉
伊藤 光生
高橋 健之
石堂 貴博

今年の6月から、暑さや熱中症への警戒として「酷暑日(40℃以上)」が新たに指定されましたが、この酷暑日がいづの間に「日常の夏」「二季の国」にならないことを祈る思ひです。

また、気象変動を予測した水稻・野菜等の継続的な品種改良を期待するとともに、一貫性のない農政に伴う米価の下落が予想される中、食料の安定供給と再生産可能な米価の制度的安定性を期待するものです。

7月に農業委員の改選があり、新たな広報委員会がスタートしましたので、今後3年間よろしくお願いいたします。

佐藤 久順 委員

編集後記